

# 各賞受賞者紹介

## 「令和3年度 文部科学大臣表彰 科学技術賞(理解増進部門)」を受賞して



香西 克之 広島大学 名誉教授

この度、我々のグループは令和3年度文部科学大臣表彰の科学技術賞理解増進部門で「すべての子どもの歯の健康増進を目指す教育活動の理解増進」の活動が認められ受賞いたしました。活動の関係者と推薦していただいた広島大学に心より感謝申し上げます。

一昨年、学長表彰を受賞したカンボジア児童歯科支援活動が今回の受賞につながるようになりましたが、今回の受賞は、これまでの40年にも及び毎年開催してきた親子のお口の健康教室や広島大学小児歯科診療室の設置当初から続けてきた子どもの齲蝕（むし歯）予防の啓発活動、小児科との連携で続けてきた有病児の口腔ケア、一時保護所での被虐待児や保護児童への歯科支援活動や市民への啓発活動が総合的に評価されたものです。小児の齲蝕罹患率が高かった昭和の時代より、齲蝕の原因を細菌学的に解明し、予防方法を開発し、その効率的な指導により、現在の齲蝕予防システムを確立してきました。いま国内では3歳児の齲蝕罹患率は10%未満となり小児齲蝕は激減しました。我々が実践している齲蝕予防方法は、齲蝕が蔓延している開発途上国でも必ず実践できることを確信して、現在はカンボジア児童の歯科支援活動に応用しています。国内でも、重症齲蝕の子どもたちが顕在化しており、背景には経済格差や子どもの貧困問題、ネグレクト、コロナ禍などの成育環境が関係しています。

今回の受賞を励みに今後も活動に貢献したいと思います。



カンボジアにおける歯科健康診断



岩本 優子 大学院医系科学研究科 歯学分野 小児歯科学 助教

国や様々な格差によらない「すべての子どもの歯の健康増進」の実現は、我々小児歯科医の目指すところですが、香西先生の小児歯科マインドの下に続けてきた国内外での啓発活動に対し、この度身に余るご評価をいただく機会に恵まれました。活動に関わった全ての方々に対して表彰いただいたものと認識し、ご指導いただいた多くの先生方、各活動の関係の皆様方に心より感謝申し上げます。

私自身が特に注力して参りましたのは、小児において重度齲蝕が頻発するカンボジアをはじめとした新興国において、地域に根ざした歯科保健指導や歯科健康診断等を通じた齲蝕予防活動を普及啓発することです。単回の治療や寄付のみで終わらない文化的に即した地域融合型の教育実践を目標に掲げて10年あまり、現地の歯科医療従事者や教育関係者との協力体制ができ、訪問先の小学校では歯みがき習慣が確立されて齲蝕の減少を認めたことから、次のステップとして、国全体の学校教育カリキュラムへの導入による自国主導型への移行を促し、さらに多くの子どもの理解増進を図ることを目指しています。

一連の活動は、日本人学生や留学生・国内外の医療従事者・その他一般市民等趣旨にご賛同いただいた多くの方を迎えて継続的に実施しており、教育活動機会の提供による生涯学習・人材育成の場ともなっております。情報発信を続け、中高生や各国からの留学生を含む様々な方に関心を持ってご協力いただけていることを大変嬉しく思います。

今後も、国内外での活動を続け、さらに精進して参りたいと存じます。変わらぬご指導ご鞭撻の程どうぞよろしくお願いいたします。



カンボジア人留学生が主体となった  
歯科保健指導